

令和4年度第1回富山県環境審議会水環境専門部会 議事概要

1 日時

令和5年2月14日（火）10時00分から11時10分まで

2 場所

富山県民会館702号室（オンライン併用）

3 出席者

委員等：楠井専門部会長、加賀谷委員、池田特別委員（代理：国土交通省北陸地方整備局企画部 村上環境調整官）、内田専門員、倉光専門員、黒田専門員、高橋専門員、高松専門員、中山専門員

事務局：林生活環境文化部次長、中山環境保全課長ほか

4 議事

(1) 水環境専門部会長の職務代理者の指名について

環境審議会委員の加賀谷富山大学教授が職務代理者として指名された。

(2) 令和5年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について

事務局より資料1-1、資料1-2及び資料1-3について説明した後、質疑応答が行われた。

令和5年度公共用水域及び地下水の水質測定計画については、県の原案に対して異議がない旨を決議した。

(3) 水環境保全活動の推進について

事務局より資料2について説明した後、質疑応答が行われた。

5 主な意見、質疑応答

(1) 令和5年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について

【委員等】大腸菌数の測定結果は公表するのか。公表による反響が大きいと思われるので、留意されて、発表いただきたい。

【事務局】条例に基づき議会に提出する環境の状況等についての報告書や環境白書での公表を予定しているが、誤解が生ずることがないように丁寧に説明したい。

【委員等】大腸菌数の調査を行う日や時間帯には、何か決まりがあるのか。雨の後だと大腸菌が高くなると思うが、その影響をどのように考えているのか。

【事務局】前日の大雨により濁水となった場合などは採水を控えている。時間帯については特に決まりはない。

【委員等】令和3年度の地下水の水質の現況で、砒素が自然的原因により環境基準を超過したとある。一方で、継続監視調査では、人為的原因の汚染を対象とし

ている理由を教えてください。

【事務局】 環境基準を超過した地点は、過去にも超過しており、当時の汚染井戸周辺地区調査では、周辺の汚染は確認されず、汚染源もなかった。地質の専門家によると、地質上砒素が検出される可能性がある地域であり、自然的原因と推察している。

人為的原因の汚染は継続監視調査にて毎年、自然的原因については概況調査にて4年に1回はしっかり監視することとしている。

【委員等】 自然的原因や人為的原因とあるが、どういう要因なのかを付記した方がよいと思う。

【委員等】 砒素の自然由来（地質由来）について、どのような地質であるから自然由来で、そのため安心、ということをメモ的に書いた方がよいと思う。

【委員等】 継続監視調査の氷見市の硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の人為的原因とは何か。令和3年度の地下水の水質の現況で、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が検出された68地点はどのような地点なのか。

【事務局】 氷見市の汚染は、平成21年度の概況調査で環境基準を超過しており、汚染井戸周辺地区調査や発生源の調査を行ったが、原因の特定に至らなかったため、監視を継続している。

検出された68地点は、概況調査の対象地域のほぼ全域に広がっていることから、明確な地域性は見いだせていない。なお、環境基準に対して十分低い濃度であり、すぐに健康に影響があるような状況ではない。

【委員等】 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が検出された68地点について、原因がわかれば、検出地点や濃度を減らす対策が可能になると思う。

(2) 水環境保全活動の推進について

【委員等】 日本地下水学会等を通じて、とやまの名水を全国、さらには世界に発信してもよいのではないか。

【委員等】 とやまの名水を全国に展開できるよう、いろいろな知恵を借りて発信していただきたい。